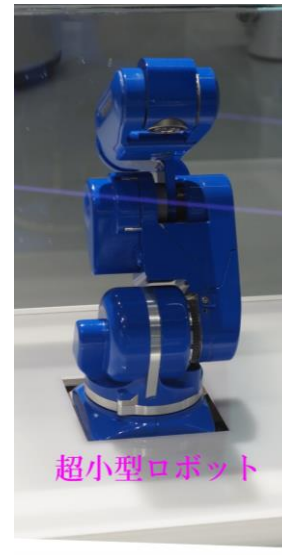
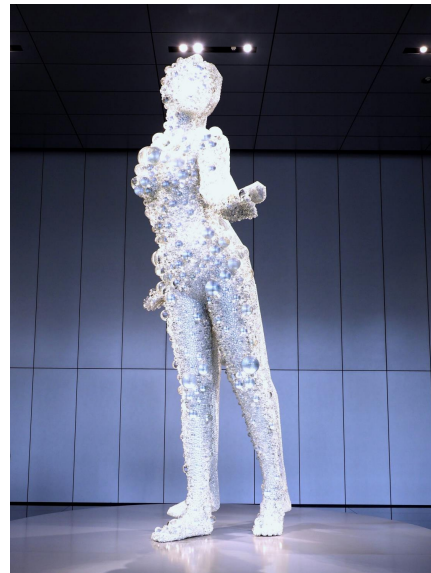
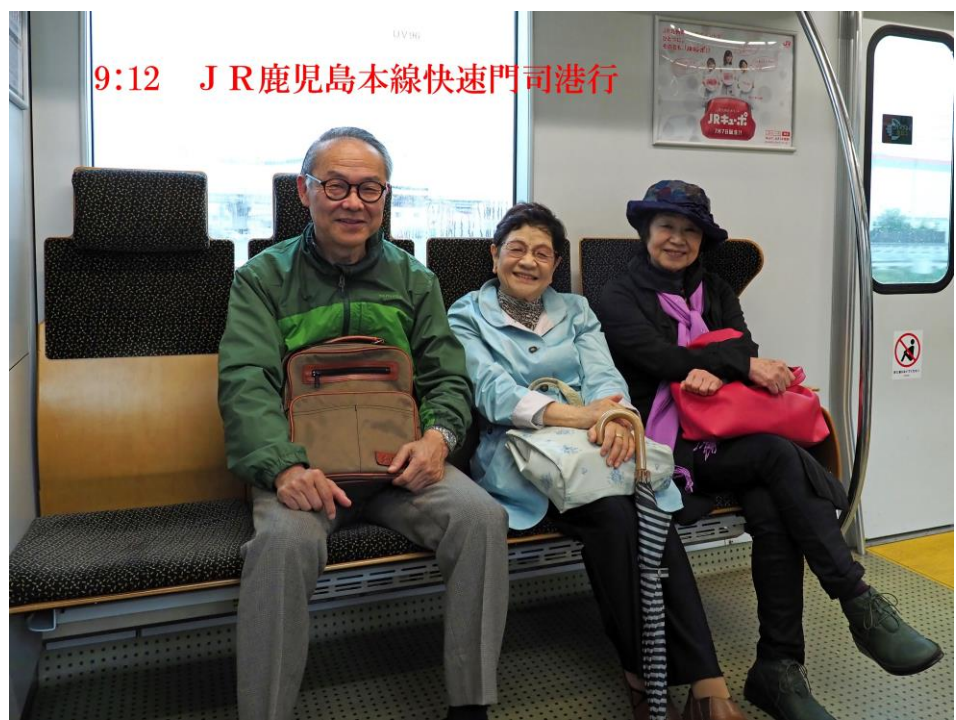


# 2017.04.10 37会、北九州散策

(巖流島、旧三井倶楽部 (昼食)、和布刈神社、九州鉄道記念館、安川みらい館、洞海クラブ (懇親会))





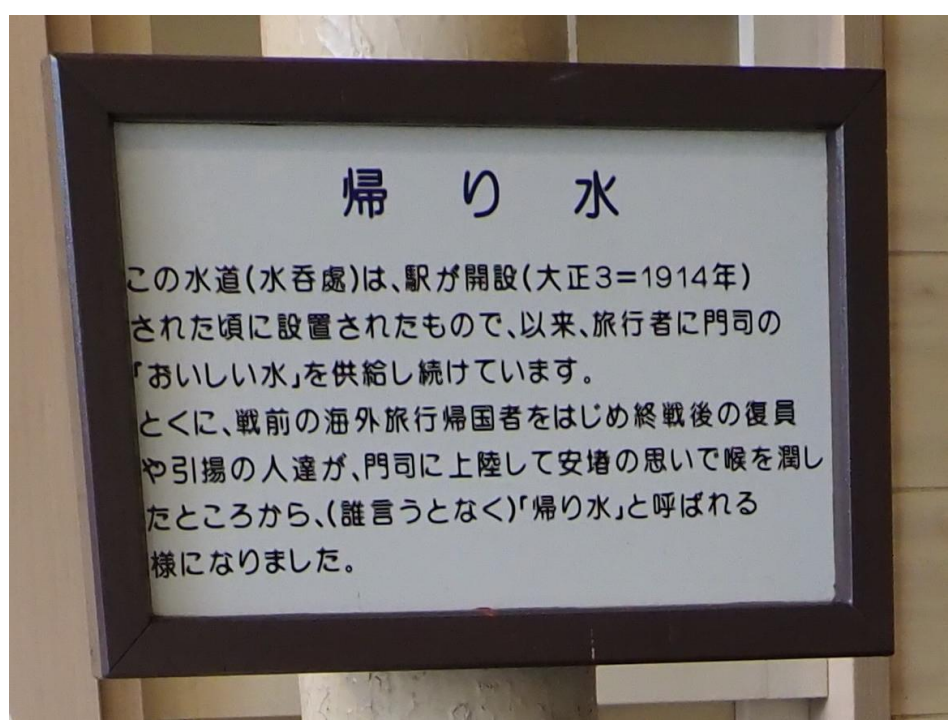


9:35 門司港



帰 り 水  
この水道(水呑處)は、駅が開設(大正3=1914年)  
された頃に設置されたもので、以来、旅行者に門司の  
「おいしい水」を供給し続けています。  
とくに、戦前の海外旅行帰国者をはじめ終戦後の復員  
や引揚の人達が、門司に上陸して安堵の思いで喉を潤し  
たところから、(誰言うことなく)「帰り水」と呼ばれる  
様になりました。

9:38 帰り水



帰 り 水  
この水道(水呑處)は、駅が開設(大正3=1914年)  
された頃に設置されたもので、以来、旅行者に門司の  
「おいしい水」を供給し続けています。  
とくに、戦前の海外旅行帰国者をはじめ終戦後の復員  
や引揚の人達が、門司に上陸して安堵の思いで喉を潤し  
たところから、(誰言うことなく)「帰り水」と呼ばれる  
様になりました。



9:41

9:42 旧三井倶楽部





9:42 門司港入口信号

下関 唐戸港まで5分 巖流島まで10分

下関

唐戸港・巖流島行

下関(唐戸)行 for shimonoseki (karato)  
乗車 大人400円 小・大200円

6	15	40	14	10	30	50
7	10	30	15	10	30	50
8	10	30	16	10	30	50
9	10	30	17	10	30	50
10	10	30	18	10	30	50
11	10	30	19	10	40	
12	10	30	20	10	40	
13	10	30	21	10	50	

※乗車時間 約5分 ※乗車日曜・祝日運賃

0円 当日限り



9:53  
門司港

マリブゲート  
もじ



下関 唐戸港まで 5分 巖流島まで 10分

下関

# 唐戸港・巖流島行

下関(唐戸)行 for shimonoseki (karato)			
運賃 大人400円 小人200円			
6	15	40	
7	10	30	50
8	10	30	50
9	10	30	50
10	10	30	50
11	10	30	50
12	10	30	50
13	10	30	50
14	10	30	50
15	10	30	50
16	10	30	50
17	10	30	50
18	10	30	50
19	10		40
20	10		40
21	10		50

所要時間 約5分 ※赤字は日曜・祝日運休

巖流島行 for ganryu-jima island				
運賃 大人800円 小人400円				
(行き)	門司港発		(帰り)	巖流島発
9		20	9	20
10	00	40	10	00 40
11		20	11	20
12	00	40	12	00 40
13		20	13	20
14	00	40	14	00 40
15		20	15	20
16	00	40	16	00 40

所要時間 約10分 ※青文字は12月~2月運休

9:53  
10:00発、巖流島行きに乗る

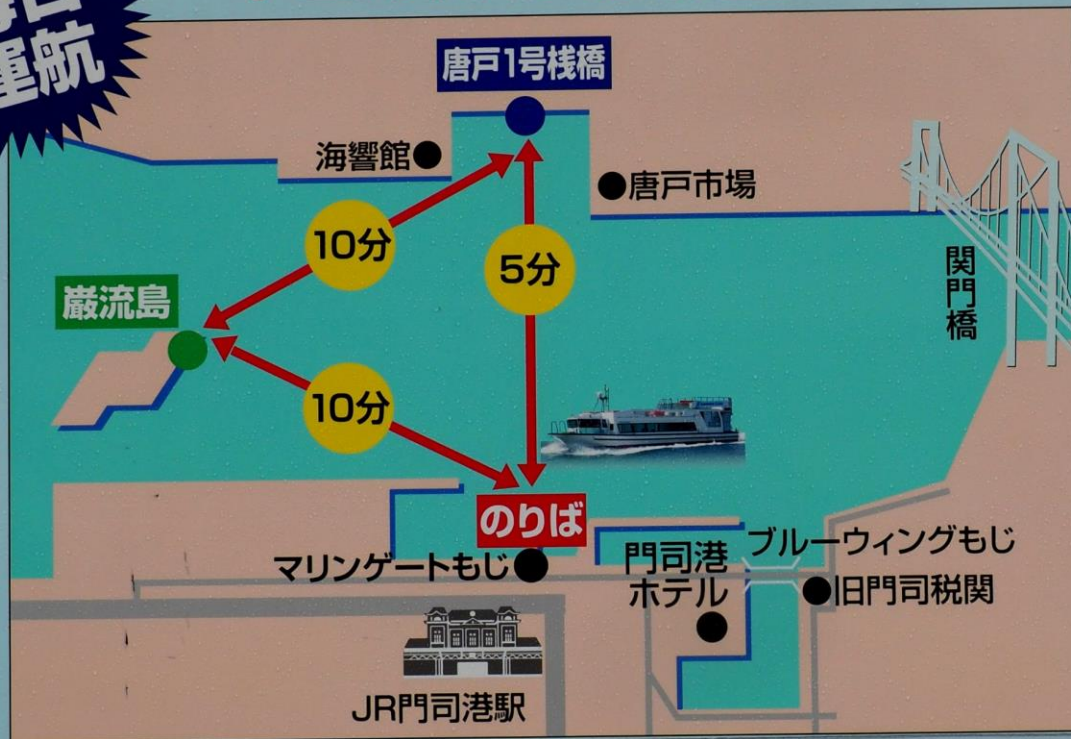
のりば



# トライアングルフリーパス

## 1日乗り放題!!

毎日  
運航



大人 **900**円 小人 **450**円 当日限り

創業明治22年

関門汽船株式会社



火の山268m

9:57 門司港からの関門橋



9:58

火の山268m

巖流島行が入港

9:58  
門司港からの関門橋



宮本武蔵と佐々木小次郎

「決闘の聖地」

# 巖流島



武蔵も小次郎も吉田松陰も坂本龍馬も  
斎藤茂吉もアントニオ猪木もマサ斎藤も……  
皆が訪れた決闘の聖地「巖流島」  
敗者の想いが息づく島  
四〇〇年余りの時を越えて新たな歴史が刻まれる……

関門海峡観光推進協議会

下関市観光政策課 ☎ 083-231-1350

北九州市門司港レトロ課 ☎ 093-322-1188

http://www.kanmon.gr.jp/

INFORMATION

## 展望広場

関門海峡の中央に浮かぶ巖流島は、まさに「海上公園」。関門橋や海峡を行き交う船を眺めながら、のんびり過ごしてみませんか。



INFORMATION

## 憩いの広場

コンサートなどに利用されるステージを備えた開放的なスペース。島内には、この広場を中心に、散策道と4カ所の休憩所が整備されています。

INFORMATION

## バーベキューサイト（憩いの広場）

関門海峡の雄大な景観を眺めつつ、決闘の聖地でバーベキューを楽しんでいただけます。

INFORMATION

## 舟島神社

巖流島（舟島）の神様が奉られている穴場スポット。決闘の聖地、巖流島の神様に祈願すれば、勝負ごとでも成就するかも。

INFORMATION

## 佐々木巖流之碑

碑文に「船島開鑿工事成功之際建立」とあります。1910（明治43）年10月31日島の中央に建てられました。今は少し位置がかわっています。碑は高さ120cm、幅65cm、厚さ45cmの自然石で造られています。

INFORMATION

## 巖流必勝タヌキに逢える…かも？

巖流島にはいつの頃からか、タヌキが住むようになりました。近くの彦島から泳いできたという話もありますが、もしかすると小次郎の弟子が待っていたといわれる「彦島弟子待（てしまつ）」から、弟子たちが化けて渡ってきたのかもしれない。

INFORMATION

## 昔の巖流島

INFORMATION

## 巖流島文学碑

アクリル板に、画家古館充臣氏がえがく、小次郎と武蔵の決闘の場面が焼付けられています。碑文「白い雲のわいている空に、小次郎の面影が見える。この後も絶えず禰禰（とね：村上元三作『佐々木小次郎』に登場する小次郎の恋人の名）の眼に浮かんで消えることのないであろう小次郎の生きている面影があった。」（村上元三作「佐々木小次郎」より）

INFORMATION

## 遊歩道

関門海峡の真ん中から関門橋を眺めることが出来るのは、ここ巖流島だけ！ 棧橋から展望台まで、松林の中の海峡散歩をお楽しみください。

INFORMATION

## ビュースポット看板

関門橋を真正面から望み、右の門司港、左に下関の街並みを見渡せる絶好のスポットです。

INFORMATION

## 武蔵VS小次郎像

武蔵像は下関市の廣瀬直樹氏、小次郎像は小次郎とゆかりのある岩国市の彫刻家・村重勝久氏がデザインしました。除幕式にはNHK大河ドラマで武蔵役・小次郎役を演じた市川海老蔵さん、松岡昌宏さんも出席されました。海峡を背景にしたこの躍動感溢れる像は、巖流島のシンボルとして観光客の皆様にも愛されています。

INFORMATION

## 人工海浜

決闘の場所をイメージして造られた白い砂浜。浜辺には武蔵が乗ってきた舟も再現されています。（遊泳禁止）



必勝タヌキ 島の人気者のタヌキ君。タヌキは「物を抜く」と言われ、勝負には縁起のよい動物。逢えれば必勝まちがいなし!!





10:15 巖流島のサクラは満開



10:15 巖流島港

10:16

龍馬とお龍も  
巖流島に上陸？

龍馬と下関

巖流島は、慶長17年(1612年)4月13日、宮本武蔵と佐々木小次郎の決闘の地として広く知られていますが、実は坂本龍馬の逸話も残されています。

慶応3年(1867年)春、下関(本陣 伊藤邸)に世帯を構えた坂本龍馬とその妻お龍、ある夜、巖流島にこっそりと渡り、花火を打ち上げた。後年、お龍が語っています。

どこで花火を上げたかは記録の想像にお任せいたします。



坂本龍馬  
大塚(1837) - 巖流島(1867)

お龍  
大塚(1837) - 巖流島(1867)

この遺跡は、宮本武蔵(1618)と佐々木小次郎(1618)の決闘の地として知られ、1970年代に、当時の国史跡として指定された。

平成13年(2001年)  
下関市  
伊藤 友則

下関市  
伊藤 友則







りょう ま りょう  
龍馬とお龍も  
巖流島に上陸？

巖流島は、慶長17年(1612年)4月13日、宮本武蔵と佐々木小次郎の決闘の地として広く知られていますが、実は坂本龍馬の逸話も残されています。

慶応3年(1867年)春、下関(本陣 伊藤邸)に世帯を構えた坂本龍馬とその妻お龍。ある夜、巖流島にこっそりと渡り、花火を打ち上げたと、後年、お龍が語っています。

どこで花火を上げたかは皆様の想像にお任せいたします。

# 龍馬と下関



お龍  
天保12年(1841)~明治39年(1906)

写真提供:井坂 直美氏



坂本 龍馬  
天保6年(1835)~慶応3年(1867)

三吉治敬氏蔵  
米開・慎蔵・龍馬会管理

この説明板は、蒸気帆船(黒船・ユニオン号・いろは丸等)の操舵や帆をイメージし、市内に点在する龍馬ゆかりの地に設置しました。

平成22年8月吉日  
下関市長  
中尾 友昭







海峡ゆめタワー 153m

10:31 巖流島から下関側を望む



10:34



Musashi Miyamoto

Musashi Miyamoto is said to have been born either in Hyogo Pre. or Okayama Pre. He devoted his whole life to swordsmanship, and invented his own method, using two swords: a long sword in his right hand and a short one in his left. Experiencing his first fight at the age of 13, Musashi successfully fought many battles, including the one with the Yoshioka-group, and distinguished himself at both Winter Battle and Summer Battle of Osaka Castle. It is well known that he beat Kojiro at Ganryu Islet (Funajima).

Musashi seldom used his steel sword to cut an opponent, but smashed him with a wooden sword.

Musashi Miyamoto was the greatest and strongest sword genius in the history of Japan.

## 宮本武蔵

生まれは、兵庫県とも岡山県英田郡宮本村ともいわれている。生涯を剣術探求に捧げ、生み出した兵法が、大刀を右手に小刀を左手に持ち自在に操る二天一流である。わずか十三歳にして初めての仕合をかわきりに吉岡一門との仕合、大阪冬・夏の陣の激戦も経験。小次郎との「巖流島の決闘」等、多くの仕合に勝ってきたが、ほとんどが撲殺だともいわれている。謎につつまれた天下無双、宮本武蔵。



© 2002 TAKESHI ICHIKAWA



Kojiro Sasaki

Kojiro Sasaki was a real man, but not much is known about him. His birthdate and birthplace remain uncertain. He was a genius in swordsmanship. After having mastered the Chujo Sword Way, he established his own method "Ganryu". He had a total command of a one-meter-long sword, and served Kokura-han as a sword instructor. His sword technique "Tsubamegashi" was lowering his long sword and lifting it upward to cut the opponent. It is well known historical fact that he fought with Musashi Miyamoto at Ganryu islet (Funajima).

## 那 次 小 木 佐 々

周防国岩国とも福井県足羽の生まれとも  
 つまれている。  
 中条流を学び、剣の腕を磨いた、剣の天才であった。自ら巖流という流派を興し、刃渡り九〇センチ以上もある長刀をあやつり小倉藩の指南役に抜擢される。頭上から一気に振り下ろし剣先をひるがえして下から切る「燕返し」をもって巖流島（舟島）にて武蔵と対決す。



## 巖流島の決闘

慶長十七年（1612年）四月十三日。

船の形に似ていることから「舟島」と呼ばれる彦島沖に浮かぶ小島で、武蔵・小次郎が雌雄を決した。小次郎の物干し竿に対すべく武蔵は行きの船上で櫂を削る。仕合開始が午前八時にも関わらず陽が高く昇りきったころ武蔵は舟島へ。

「武蔵！遅参とは何事か。臆したか！」  
というや物干し竿を抜き放ち鞘は波間へ。

それを見た武蔵はにやりと笑いこころ叫んだ。

「小次郎破れたり！」





## 巖流島の決闘

慶長十七年（1612年）四月十三日。

船の形に似ていることから「舟島」と呼ばれる彦島沖に浮かぶ小島で、武蔵・小次郎が雌雄を決した。小次郎の物干し竿に対すべく武蔵は行きの船上で櫂を削る。仕合開始が午前八時にも関わらず陽が高く昇りきったころ武蔵は舟島へ。

「武蔵！遅参とは何事か。臆したか！」

「というや物干し竿を抜き放ち鞘は波間へ。」

それを見た武蔵はにやりと笑いつつ叫んだ。

「小次郎破れたり！」





10:37 巖流島港 10:40発に乗船する



10:37



11:52 川三井倶楽部で海鮮焼カレーの昼食



12:05 門司港レトロハイマート103m

九州最北端  
参拝記念



和布刈神社

R. Kawano





12:42  
和布刈神社からの関門橋



12:42  
和布刈（めかり）神社から下関の  
火の山268m



12:46





12:46 和布刈神社

和布刈神社

和布刈神社  
和布刈神社の歴史  
和布刈神社の歴史  
和布刈神社の歴史

和布刈神社  
和布刈神社の歴史  
和布刈神社の歴史  
和布刈神社の歴史

# 和布刈神社

九州最北端に位置するこの神社は、社記によると、仲哀天皇九年に比賣大神、日子穗々手見命、鷗鷗葺不合命、豊玉日賣命、阿曇磯良神の五柱の神を祭神として創建され、江戸時代までは、速戸社とか隼人社と呼ばれていました。

近世末までは、時の領主である大内氏、毛利氏、細川氏、小笠原氏の崇敬庇護厚く、神殿前には細川忠興公が寄進した灯笼があります。

この神社には古くから和布刈神事が伝えられています。李部王記によれば、和銅三年（七一〇）に和布刈神事のかめを朝廷に献上したとの記録があり、奈良時代から行われていたものです。

神事は、毎年旧暦大晦日の深夜から元旦にかけての干潮時に行われます。三人の神職がそれぞれ松明、手桶、鎌を持って海に入り、わかめ刈り採って、神前に供えます。

わかめは、万物に先んじて、芽をだし自然に繁茂するため、幸福を招くといわれ、新年の予祝行事として昔から重んじられてきたものです。神事のうち、わかめを採る行事は、県の無形民俗文化財に、また、当神社に伝存する中世文書九通は、市の有形文化財に指定されています。

北九州  
北九州教育委員会



## Mekari Shrine

Mekari Shrine is located at the northernmost point of Kyushu. Until the Edo Era (from the 17th century) it was called Hayato Shrine.

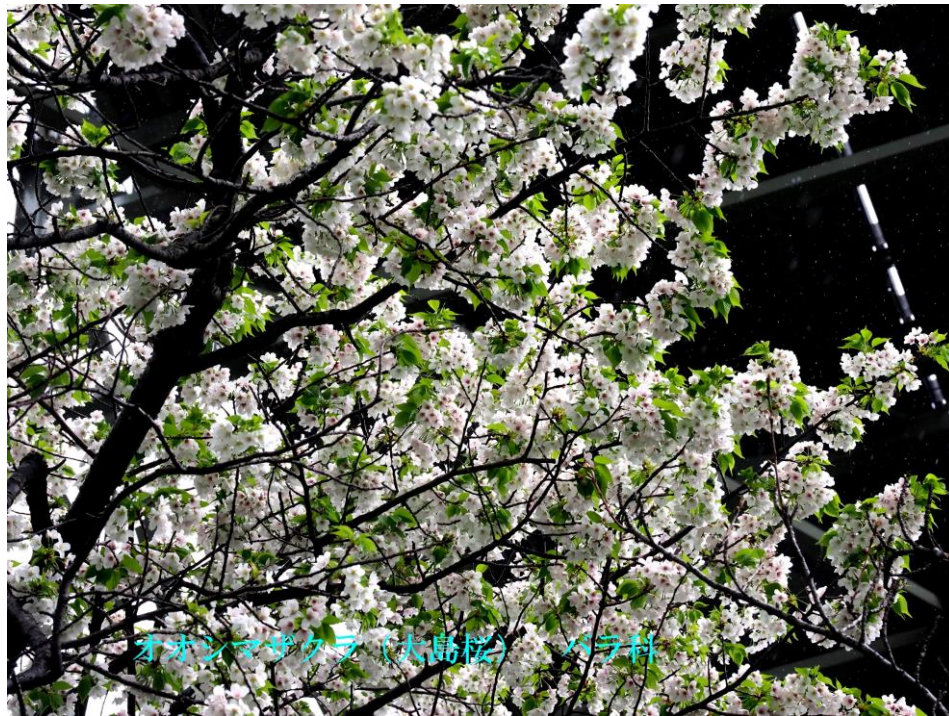
Every year on the New Year's Day of the ancient Japanese lunar calendar, the nationally famous Mekari Shinji (a prefecturally designated folk cultural treasure) is held. In the Mekari Shinji festival the priests of the Shrine remove seaweed from the sea, seaweed being the symbol of long life. There exist written records showing that, as early as 710 A.D., wakame (seaweed) from Mekari Shinji was sent to the Imperial Court in Nara. The Shrine has a collection of old documents among which is an original letter sent by the Imperial Court in thanks for the seaweed. There are, also in the collection, nine documents dating back to medieval times and these have been designated cultural treasures by the city.



12:47 和布刈神社



キランソウ（金瘡草） シソ科



オオシマザクラ（大島桜） バナナ科



キュウリグサ（胡瓜草） ムラサキ科  
別名：タビラコ



キュウリグサ（胡瓜草）  
ムラサキ科  
別名：タビラコ



キュウリグサ（胡瓜草） ムラサキ科  
別名：タビラコ

12:54











# あこがれの 制服

Admired Uniforms

被世人羨慕的制服

선망의 제복

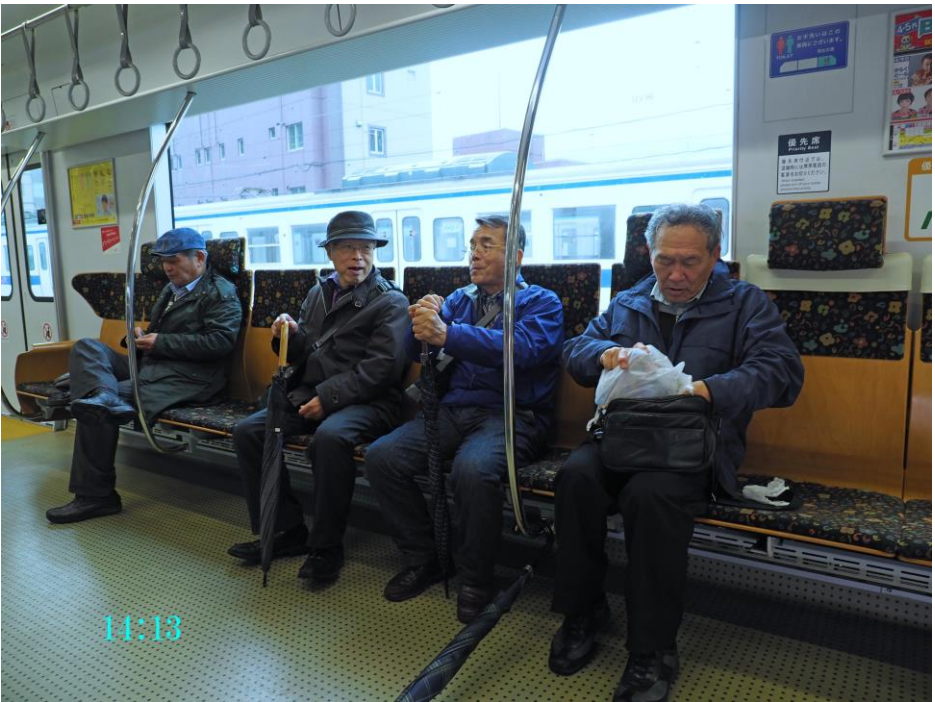
明治時代に鉄道が開業した当初から、  
職位や職種ごとに制服が定められてい  
ました。  
当時は、和服を着る人がほとんどで、  
洋服はまだ珍しい時代でしたので、人々  
の注目の的だったといわれています。  
今も、鉄道職員の制服にあこがれる人  
は少なくありません。







14:02







ピクセル・ダブルミューズ  
彫刻家 名和 晃平  
安川みらい館





ピクセル・ダブルミューズ  
安川みらい館



彫刻家 名和 晃平





安川電機 미래館

YASKAWA Innovation Center

2017年04月10日

YASKAWA

安川電機



2017/04/10 17:05 安川みらい館



17:23 洞海クラブ



17:30 洞海クラブ



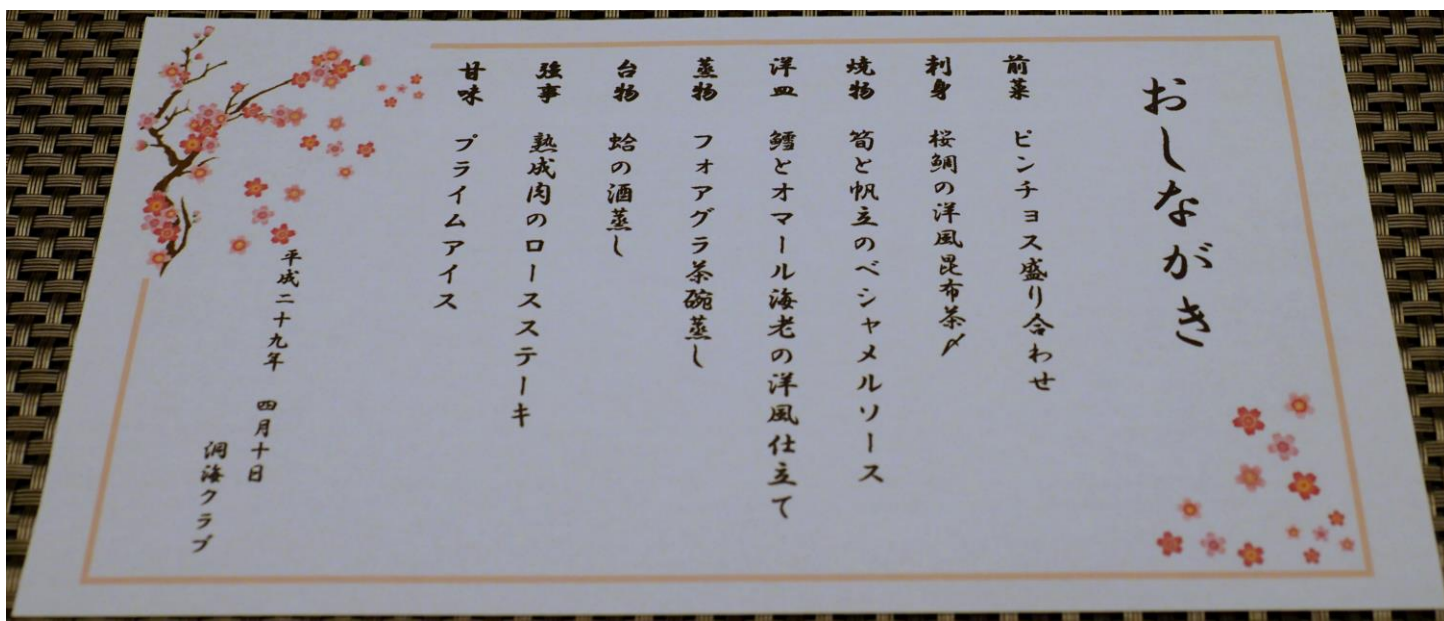
17:32  
洞海クラブ



17:30



17:39



おしながき

- 前菜 ビンチョヨス盛り合わせ
- 刺身 桜鯛の洋風昆布茶ダ
- 焼物 筍と帆立のベシヤメルソース
- 洋皿 鱈とオマール海老の洋風仕立て
- 蒸物 フォアグラ茶碗蒸し
- 台物 蛤の酒蒸し
- 強亭 熟成肉のロースステーキ
- 甘味 プライムアイス

平成二十九年 四月十日

洞海クラブ



END